



第23回中小商工業全国交流・研究集会

中小業者の力が発揮できるローカル循環を

HP・メールニュース〈No.4〉

2025年8月20日

「商工交流会の3日目（9月7日）にコラボ企画『岐阜経営対策・青年学習交流会』（商工交流会のパネルAと基礎講座を視聴し、県独自に民商役員が講師を務める持続化補助金申請講座とノミネーション交流会をするという一連の企画）を開いて、経営対策を強める」（岐阜県連）など、工夫を凝らした取り組みが準備されています。各地からは参加申し込みが次々に寄せられています。絶賛好評につき、商工交流会の参加申し込みの締め切りを9月2日（火）に延長します！全ての民商から参加しましょう！商工交流会の情報や魅力、準備状況などをHP・メールニュースでお届けします。（このメールニュースは県連から民商にお送りください）

第23回
中小商工業
全国交流
研究集会

共同の力で公正な
経済社会を確立しよう
中小業者の力が発揮できる
ローカル循環を

お申込み受付中 ~~8月20日~~ **9月2日まで**
日時
2025年**9月5日金・6日土・7日日**
12日金・13日土・14日日

絶賛好評につき、9月2日（火）まで締め切り延長！

企画9 課題別交流会「地域資源の活用、省エネ対策で経営発展」

9月6日（土）13:00～15:00

助言者 井内尚樹（名城大学教授）

地域の資源を活用した経営向上や省エネ対策などを取り入れた経営実践など、循環型地域経済の確立に向けた中小商工業者の知恵と工夫を交流する分科会です。

注目は、農業と自然エネルギーを組み合わせることで地域の再生、循環型経済に挑戦している「小田原かなごてファーム」代表の小山田大和さんの報告です。東日本大震災と原発事故を機に、持続可能な食糧、エネルギーの問題解決に踏み出した小山田さん。2014年から耕

作放棄地の活用に取り組み、農薬や除草剤、肥料を使わない自然栽培でミカンを栽培。耕作放棄地＝おひるねしていた畑で収穫したミカンを原料に6次産業化して「おひるねみかんジュース」の製造・販売を始めました。

小規模分散の太陽光発電と農地の再生をセットにしたソーラーシェアリング施設の建設を推進し、売電収入を確保しながらコメや野菜の栽培も開始。収穫した自然栽培米を地元の酒造メーカーに持ち込んで日本酒造りも始めています。酒造



メーカーで使う電気は、小山田さんのソーラーシェアリングで生み出した電力でと、まさに地域の資源を生かした「循環共生圏」を実現しています。FIT（固定価格買取制度）に依存しない発電形態で電力供給、売電できるモデルの導入にも取り組み、「電気は再エネを使いたい」という需要に応えた枠組み作りを進めています。実践に裏付けられた豊かな報告内容にご期待ください！

その他にも、省エネ対策の要ともいえる建築物の断熱化の実践報告を予定しています。民商会員による具体的な施工内容や営業活動などの紹介を準備しています。建築基準法が改正され、今年4月から省エネ性能基準が義務化されるもとの、中小建設業者が仕事確保を進めるうえでの努力や工夫を学び合うようにします。

***** 《参加費と参加申し込みについて》 *****

〈参加費〉 個人参加 1人 3,500円 学生1人 2,000円
団体参加 5人以上 15,000円

〈申し込み方法〉

- ☆ 個人参加をお申込みの方は「個人参加申込書」を、団体参加をお申込みの方は「団体参加申込書」と「団体参加 参加者事前登録用紙」を FAX（03-3988-0820）または、メール（seisaku@zenshoren.or.jp）でお送りいただき、参加費をお振込みください。締め切りは8月8日（金）。
- ☆ 詳細は、全商連（<https://www.zenshoren.or.jp/shoukou-kenkyushukai>）をご覧ください。

主 催 第23回中小商工業全国交流・研究集会 実行委員会
お問い合わせ 電話 03-3987-4391／ファクス 03-3988-0820
メール seisaku@zenshoren.or.jp